フィッシング報知

# 「第55回報知キス釣り選手権・SESSYA CUP」鳥取予選

# 小村トップ5尾 橋口選手

## 16人が本戦に進出

### ㊋マルキユー イソメにせまる 釣れっぷり！ パワーイソメ

「第55回報知キス釣り選手権・SESSYA CUP」が11日、鳥取・弓ケ浜で開幕した。鳥取予選は99人が参加して行われ、競技時間は午前6時から4時間。釣ったキスの尾数で順位を競った。食いが渋いなかで、小村文也選手（三田市）と橋口尚人選手（TEAM HIOKI・TEAM大和）が最高釣果5尾で予選トップ通過を決めた。次いで4尾を釣った上田博選手（キス研大阪）ら上位16人が、決勝大会（9月22日、徳島・北の脇）に駒を進めた。18日に徳島・北の脇で、26日には福井・三里浜でそれぞれ予選が行われる。

今年の「報知キス釣り選手権・SESSYA CUP」の予選会は鳥取と徳島、それに、これまでの愛知に代わり福井の3会場で開催されることになった。昨年までの愛知・田原市の堀切海岸も人気が高かったが、天候や波などの影響で開催延期が相次ぐことが多かったため、今年は福井・三里浜に会場を変更した。

【主催】報知新聞社
【後援】全日本サーフキャスティング連盟
【協賛】㈱SESSYA
【協力】㈱サンライン、㈱ささめ針、キリンビバレッジ㈱、東邦産業㈱、㈲越河金属、㈲三和自動車工業、㈱インタープロス、㈱エスジーズ、㈱蔵元 稲田本店、㈱いけがみ、㈲米子報知機、㈲多林製作所

上位入賞を果たした（前列左から）森中、樋口、増原、上田、花房、福田、橋口、小村（後列左から）城代、水根、山本、川上、小出、岡村、大前、河端の各選手

### 盛況99人が参加

予選会のスタートを切って11日、鳥取・境港市の弓ケ浜海岸で鳥取予選が開催された。午前5時ごろから受け付けを開始すると、続々と選手が集まり長い列ができた。最終的には、東は関東、西は九州を含む99人の参加があり、鳥取会場の人気の高さがうかがえた。

午前5時半に浜で競技説明を行い、その中で釣り餌についてルール変更を伝えた。キスの食いが悪いときや、型の良いキスを狙うときの特効餌であるチロリが入手困難になり、できるだけ同じ条件で競技できるように、餌は入手しやすいイシゴカイに限ることにした。出発前のクーラーチェックで餌の確認も行った。

同6時に釣りを開始すると選手は思い思いのポイントで竿を振った。1投目の釣果に期待して本部前のポイントで様子をうかがうが、キスが上がってこない。かなり厳しい状況だった。今年は日程の都合で少し早い時期の開催となり釣果に不安があったが、悪い予想が的中した。

競技開始から1時間を過ぎた頃に2尾目をゲットし笑顔の花房選手。最終釣果4尾で予選通過だ

▽予選通過人数　基本的に参加者数の上位1割とし、端数は繰り上げ。99人の参加で10位タイまでが決勝進出となるところ、今回は9位タイ（釣果2尾）16人から抽選で8人が選出され、計16人に決勝大会進出の権利が与えられた。

◇鳥取予選の通過者◇

| 順位 | 選手名 | 所属クラブまたは住所 | 尾数 |
|---|---|---|---|
| 1 | 小村　文也 | 三田市 | 5 |
| 1 | 橋口　尚人 | TEAM HIOKI・TEAM大和 | 5 |
| 3 | 福田　真人 | ＦＣ大ぼら | 4 |
| 3 | 花房　敬祐 | ＦＣ大ぼら | 4 |
| 3 | 上田　博 | キス研大阪 | 4 |
| 3 | 増原　光洋 | 米子市 | 4 |
| 7 | 樋口　裕 | 寝屋川市 | 3 |
| 7 | 森中　俊夫 | キス研鳥取 | 3 |
| 9 | 河端　季之 | Team Smile Tester's | 2 |
| 9 | 大前　勝紀 | レインボーキャスターズ | 2 |
| 9 | 岡村　繁 | 東近江市 | 2 |
| 9 | 小出　文雄 | 周防灘サーフ・ＡＢＥ組 | 2 |
| 9 | 川上　昭一 | キス研島根 | 2 |
| 9 | 山本　成子 | 石川県河北郡 | 2 |
| 9 | 水根　清人 | ＴＥＡＭ大和 | 2 |
| 9 | 城代　真 | キス研島根 | 2 |

▲▲　思い思いのポイントで時間いっぱいまでキスを狙う選手たち

### 決勝で母子対決!!

○…女性でただひとり予選を通過した山本成子さん(75)は選手権進出証を手に、「息子に弓ケ浜での釣り方を教えてもらいました」とニッコリ。その息子とは、歴代報知キス釣り名人の西向雅之さんだ。アドバイス通りに実行すると、なんと2投目に2連！　後は続かなかったが、釣果が出なかった選手が57人もいた激シブの海で奮闘した。20年以上前に雅之さんの影響で始めたキス釣り。時間を見つけては夫の満さん(73)と竿を並べ、幾度かの大会出場経験もある。決勝進出には「まさか私が。夢のようです」と本人が一番驚いた様子。決勝大会での母子対決が楽しみだ。

### 厳しい状況でも

エリアの左端から右端まで歩いて釣果を聞くと、全くアタリがない、アタリがあってもハリに乗らないという返事が多かった。そんな厳しい状況の中でも選手は熱心にキスを狙い、ポイントによっては1尾から最高5尾までの釣果を得た。釣れたキスのサイズは10㌢ほどの小型から大きくて17㌢ほどだった。キスの群れが小さくて、ほとんどが単発のヒットで、知る範囲では最高2連だった。

今回、鳥取会場からは9位タイまでの16人が名誉ある本戦に進出することになった。9月22日、徳島・北の脇海岸で開催される決勝戦での活躍に期待する。

（報知ＡＰＧ・野村　道雄）

### 誇る弓ヶ浜 活動に感謝

場の美保湾展望駐車 見る浜辺の白砂と、 空とのコントラスト 。砂浜の美化に力を 境港美保ライオンズクラブ」が、月イチで行う清掃活動によって海岸の美しさが保たれているからだ＝写真＝。参加選手たちも「気持ちよく釣りができる」と好評。そして、「釣り場を汚さない」は釣り人の心得のひとつ。もちろんゴミを残さず、美しいままお返ししました。